

ウクレレを弾いて

桜が丘 森 正武



ウクレレを弾いて何年になるだろう。考えてみれば古い話だよ。

そうだ、戦争が終わった昭和の二十二年頃だった。アメリカの兵隊が来て、立川にいた頃に、第5航空隊の将校のハウスに一週間遅れの新聞を配るボーイをやっていたんだ。その時将校から貰った糸の切れたウクレレだった。楽器屋へ行って糸下さいと言ったら三味線の糸くれたっけ。仕方なくその糸張って弾いたのが昨日のようだよ。ハワイの音楽が面白くて、よく弾いたっけ……。

ブログから抜粋

小白裕 岡野 清

惨い再会

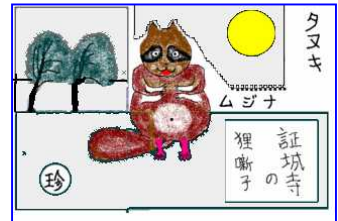
戦争が終って六十年……昨日元日本兵が六十二年ぶりに一時帰国した。

彼は21歳で戦争に召集され、やがて終戦となったが敵から逃れるため同僚とも別れ別れになったそうです。知らぬサファリンでの空白の60年……日本語も殆ど忘れ話せない様子には哀れさを感じました。

惨い戦争の落とし子……国のために人生を犠牲にした多くの人の一人でもあります。

戦後三十数年もしてから、グアム島で発見された横井庄一さん・ルパン島で呼びかけにやっと応じて帰国した小野田さんが記憶にある。まだまだ数多くの人が残されたかも知れない。遅すぎた帰国……今や記憶に薄い弟との感激の再会……珍さんは言い様のない感銘を受けました。

タヌキ



この間、タヌキの若い職員から、タヌキとお化けは何の関係があるの？と質問されました。

キツネは殆ど犬と同じ生

態ですが、タヌキは「ムジナ」とも言われ全く違います。

タヌキは夜行性で木に登ったり、立って周りの様子を伺ったりします。

そして目の回りが黒いため、昔から「お化け！の言い伝えがあるのです。

子供のころ珍さんはよく言う事を聞かない時、「ムジナに食わせつちまあがら」と親に叱られ怖がったもので

珍さんは「証城寺の狸ばやし」と「ぶんぶく茶釜」の話をしてあげました。

久しぶりの東京

城山 木嶋 保子

約一年ぶりに東京に出かけた。

去年開通されたつくばエクスプレス(通称TSE)を利用しての駅中央エレベーターがあり、運賃が障害者5割引というのもうれしい。南千住・日暮里と乗換えて山手線に。終点の秋葉原まで行かなくても大丈夫だった。SEの改札はスイスイと通れる。心配だったエスカレーターも上りはほとんど問題ないが、右側手すりにつかまって立っていると、急ぐ人は右側を駆け上っていくため、左側に寄りなればならない。そのため下りる時は身体が不安定になってしまう。エスカレーターは急ぐ人のためにいつの頃からかこのよう

階段も上りは右側手すり

で右足先行、かなり右足に負担がかかり痛みも増した。下りは左側手すりを利用し左足から下りる。

人ごみも、急に走ってくる人にぶつからなければマイペースに歩行を進めることが出来る。両杖をついてはい

るものの、仮に杖を離しても歩けるくらいなので、身体の安定感はある。少し前よりは杖への依存度は少なくなっ

てきたようである。退院してからかなりの回復を実感している。

総合的に見て、一人旅は「可能」ということかな。事前に駅構内の改札・エレベーターなどの位置を調べていけば、もっと移動が楽になるだろう。当然荷物もリュックに背負える程度に両手は自由にしておいた方がよい。今日はなぜか両方の肩が痛い。万歩計は3362なり。人工股関節手術を受けて9ヶ月になりました。



な習慣になっ

たようにある(ならば階段を利用すればよいのに……)

註：ブログ(blog)とは、ホームページの形式の一種で、日記ホームページのようなものです。ウェブログの略称です。